

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	HANAFUKU(保育所等訪問)		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月2 日		令和8年 2月 8日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	令和8年 3月 2日		令和8年 3月 8日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○訪問先施設評価実施期間	令和8年 2月 2日		令和8年 2月 8日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	1	(回答数)
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 16日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	園での様子を丁寧に観察し、児童一人ひとりの実態把握に努めています。	観察内容を保護者、園と共有し、児童発達支援での様子も踏まえながら情報共有を行っています。	観察結果を支援計画や園への具体的な助言に反映し、関係機関との連携を更に深めていきます。
2	保護者、園との連携を大切にし、共通理解のもとで支援を進めています。	面談や情報共有を通して、支援方針を確認し、一貫した支援を心掛けている	定期的な振りかえやフィードバックの機会を増やし支援の質の向上を図っていきます。

3	小規模であるため、一人ひとりの状況に応じた柔軟な対応が出来ます。	利用児童の発達段階や園生活に合わせた、観察を実施しています。	利用実績を積み重ね、支援方法や支援内容の充実につなげていきます。
---	----------------------------------	--------------------------------	----------------------------------

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用児童数が少なく、支援実績が限られています。	保育所等訪問支援の利用者が現在1名であるためです。	関係機関への周知をすすめ、利用者の拡大と実績の蓄積を図っていきます。
2	観察支援が中心で、直接支援や助言の機会が少ないです。	現在の利用児童のニーズや支援内容によるためです。	必要に応じて具体的な助言や支援方法の提案を充実させていきます。
3	支援効果の検証や事例の蓄積が十分ではないです。	利用件数や継続事例を少ないためです。	支援記録や評価を積み重ね、継続的な改善につなげていきます。